

令和5年5月26日

令和5年度横浜国立大学一般選抜（前期日程）  
理科【生物・地学】における入試ミスについて

横浜国立大学

令和5年2月25日（土）に行いました「令和5年度横浜国立大学一般選抜（前期日程）理科「生物・地学」」の試験問題において、入試ミスがあることが判明しました。

受験者をはじめ関係者の皆様に多大なご心配をお掛けしましたことに対し、お詫び申し上げますとともに、今後このようなことが起こらないようチェック体制を一層強化し、再発防止に万全を期する所存であります。

### 1 選抜区分の概要

- (1) 選抜区分：一般選抜 前期日程
- (2) 試験実施日：令和5年2月25日（土）
- (3) 入試ミスのあった試験科目：理科「生物・地学」
- (4) 実施学部：理工学部、都市科学部
- (5) ミスのあった科目の受験者数

理工学部化学・生命系学科バイオ EP 77名（うち生物解答者 36名）

都市科学部環境リスク共生学科 114名（うち生物解答者 16名、地学解答者 3名）

### 2 ミスの概要

#### 【生物】

大問Ⅱ 問7.(2) について、所定の計算に基づき解を求める設問であったが、基本的な計算誤りで、誤った解を正解としてしまった。

#### 【地学】

大問Ⅰ 問4.について、所定の計算に基づき解を求める設問であったが、基本的な計算誤りで、誤った解を正解としてしまった。

### 3 受験者に対する対応

当該設問の正しい解答をもとに採点をし直し、合否判定をやり直した。

その結果、当初合否判定の結果には影響がないことを確認したため、追加合格は行わない。

本件担当：横浜国立大学学務・国際戦略部入試課

電話 045-339-3120

## 【入試ミスがあった問題（抜粋）】

### 【生物】

大問Ⅱ問 7. (2) 下線部 (h) に関して、酸素濃度（相対値）と酸素と結合したヘモグロビン（酸素ヘモグロビン）の割合（％）を調べたところ、図のような結果を得た。以下の問いに答えよ。

(2) 肺胞における酸素濃度を 100、組織における酸素濃度を 30 とすると、肺胞において酸素と結合したヘモグロビンの何％が組織において酸素を放出するか答えよ。答えは整数値で書け。

本学の誤解答 65％ 正答 68％

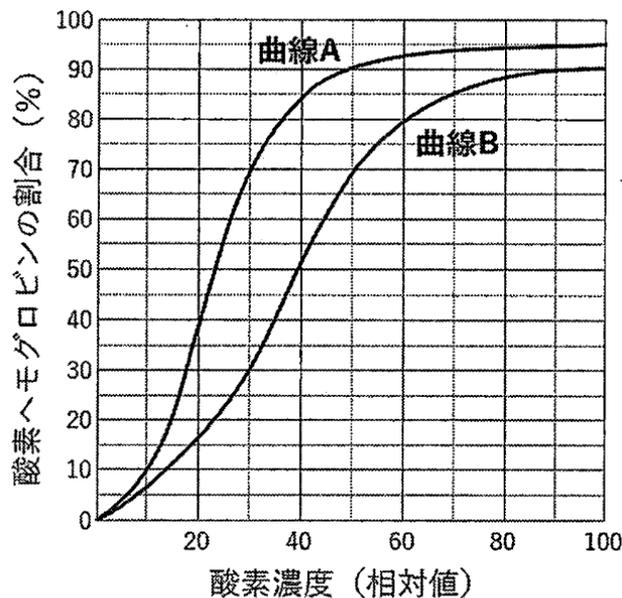


図 肺胞または組織における酸素解離曲線

### 【地学】

大問Ⅰ問 4. 太陽赤道部にある黒点を地球上から観察したところ、太陽の東端に現れてから西端に達するまでに 13.5 日かかった。この時の太陽赤道部の自転周期を小数点第一位まで計算し、計算式とともに答えよ。ただし、1 年を 365 日とする。

本学の誤解答 24.5 日 正答 25.1 日